

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

#### 学校経営中期取組目標

- 信頼関係をすべての教育活動の基盤とし、子どもが安心・安全で過ごし、「まち」とともに歩む学校を目指します。
- ・生活科・杉田の時間を学級経営の核とし、子どもが学ぶ楽しさを実感でき、表現力を大切にし、学力の向上を図ります。
  - ・一人ひとりの思いや願いを大切にし、また、自信をもって行動できるようにし、子どもの自尊感情を育みます。(特別支援教育、国際教室の運営などを個のニーズに合わせて行います。児童理解も丁寧に取り組みます。)
  - ・基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに健康な日々を送れるようにします。
  - ・豊かな体験と人とのかかわりを通して、「まち」とともに生きる子どもを育てます。

### (2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 (学習指導)	① 重点研テーマを「意欲的に学び、ともに高めあう子どもの育成」と設定し、国語科の授業改善を核にすえ、言語環境の充実に努め、言葉を通して人とかかわる力、自らを表現する力を育てる。 ② 子ども同士の話し合い活動を多く取り入れ、自分の思いや考えを相手に伝えることができるようにする。

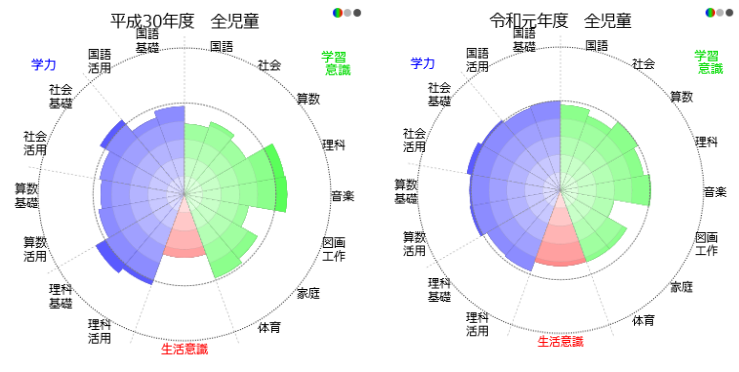
## 2 横浜市学力・学習状況調査からの実態把握(令和2年度より)

### (1) 学力の概要と要因の分析

全体的な学力の状況は、学年・教科によってばらつきはあるものの、横浜市の平均と同程度と言える。また、全体的に、昨年度より横浜市の平均と比べての学力は上がってきている。

それは、「主体的・対話的で深い学び」を目指して、授業改善と教育課程の編成に取り組んできたことや、体験的な活動を通して問題解決を図る中で、自分なりの表現方法で相手に伝える力を高める学習過程を重視してきた成果だと考えられる。

今年度は、「意欲的に学び、ともに高めあう子どもの育成」を目指してさらなる授業改善・教育課程の編成に取り組む。



### (2) 教科学習の状況

- 国語科：全体的に市の平均値と同程度である。基礎的な力の定着率が比較的高い。
- 社会科：全体的に市の平均値を若干上回っている。特に、「知識・理解」等の基礎的な力の定着が見られる。
- 算数科：全体的に市の平均値と同程度である。特に「技能」では比較的高い得点が得られた。
- 理科：全体的に市の平均値を若干下回っている。「技能」にその原因が見られる。

### (3) 経年変化の状況と要因の分析(学習・生活意識調査も含めて分析)

昨年度と比べ、4教科共に基礎力が定着している。体験的な学習を重視したり、基礎的な問題解決学習を繰り返すことに力を入れたりした成果だと考えている。また、学習意識では「『杉田の時間』で学ぶことが好き」と答えた児童が市の平均よりかなり高く、自らの課題に主体的に取り組む中で、基礎力がしっかりと身についたと考えられる。

生活意識が上がっているが、これは、授業が分かったと考えている児童が増えていることと、家庭学習の時間が増えていることに相関関係があると考えられる。また、自尊感情意識に対する質問では、市平均を若干上回る傾向があった。

### 3 令和2年度 学年・教科等としての具体的取組

1年	<p>【国語】・ひらがなやカタカナ、漢字を正確に覚えて、丁寧に書くことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話の内容を考えながら聞いたり自分の考えを丁寧に伝えたりする経験を通して、話す、聞く楽しさを味わうことができるようにする。</li> <li>・話の内容を想像しながら、楽しんで物語を読めることができるようにする。</li> </ul> <p>【算数】・ブロックやカードなど具体物を用いた活動を多く取り入れることで、計算の意味や仕方を考えることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活での経験と結びつけ考えて、算数に対する関心を高められるようにする。</li> </ul>
2年	<p>【国語】・体験的活動の充実を図り、学習への意欲や興味を引き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に自分の思いを伝えたり、説明したりする機会を多く設け、学び合う楽しさを味わえるようにする。</li> </ul> <p>【算数】・具体物を活用したり、実際に活動したりするなどの算数的活動を取り入れ、学習意欲を高めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてを明確にし、考えたり話し合ったりする時間を大切に理解を深められるようにする。</li> <li>・他教科とも関連付けながら、様々な場面で学習したことを活用し、基礎基本の定着を図る。</li> </ul>
3年	<p>【国語】・自分の思いを表現する方法として語句の役割や場の工夫をし、学び合いの学習を丁寧にやる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の学習では、漢字の形を分解して部分ごとに唱えて覚える学習に取り組み、読み書きの定着を図る。</li> </ul> <p>【社会】・まちや暮らしについて具体的な活動を通して人々の知恵や工夫に気付くようにする。</p> <p>【算数】・学んだことや算数教具の利便性に気付き、生活の中で活用できるようにする力を高めていく。</p> <p>【理科】・観察・実験を通して、様々な科学的現象を言葉で表現できるようにする。</p>
4年	<p>【国語】・語彙や漢字を習得するうえで、豊かな表現力を身に付けられるような機会を意図的につくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを表現する場の工夫をし、学び合い、交流の学習を増やす。</li> </ul> <p>【社会】・生活に身近な課題としてとらえられるように単元の導入を工夫し、興味が持続するようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことや感じたことを発信したり、それに対して意見を交換できたりする場を設ける。</li> </ul> <p>【算数】・生活場面を生かした課題設定や既習事項をもとに考えられるような授業展開を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な知識の定着を図るための計算練習や、自分の考えと友達のを比べ、話し合う活動を繰り返し行う。</li> </ul> <p>【理科】・生活経験等と結び付けたり、身の回りの変化に気付いたりし、自分なりの課題をもって学習できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験を通して、事象の変化の理由を言葉で表現できるようにする。</li> </ul>
5年	<p>【国語】・言語活動の充実を図るために少人数での話し合いや発表など、様々な学習展開を工夫する。</p> <p>【社会】・身近な生活場面から問題をとらえ、実感のある学習展開を構築していく。</p> <p>【算数】・基礎的な知識・技能の定着を図るために反復練習を行い、「できる」という喜びを味わえるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア学習を取り入れ、自分の考えに根拠をもって説明する機会を増やしていく。</li> </ul> <p>【理科】・身の回りから問題を見出し、興味関心をもって問題を追究できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の把握、予想、実験、結果、考察の流れを大切に授業を進め、筋道立てて考える力をつけていく。</li> </ul> <p>【教科担任制】理科・社会等で、学年の担任が学年の教科担当を分担し、多くの教員が学習にかかわれるようにする。</p>
6年	<p>【国語】・長文読解では、文章を深く読み取る力を伸ばすために、説明文の読み取りを論理的に行う授業の推進をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、読書活動の励行をすすめていく。授業形態にも工夫をしていく。</li> <li>・文の構成のとらえについては、自分で的確な表現をする力が伸ばせるように、言語についての関心を高めるようにする。主語と述語の関係の理解を深めるために、日ごろから言語活動を大切にしていく。</li> </ul> <p>【社会】・資料の読み取りでは、自分の生活に結び付けて生かすことを繰り返し指導していく。日頃から社会情勢について話をしたり、新聞記事等をもとに関心をもたせたりする授業展開をする。</p> <p>【算数】・問題解決にあたって、論理的思考を生かして説明することができるようにする。また、数学的な考えの力をつけるために、解決した過程を言葉で書けるような習慣を図る。ノート指導の徹底をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の読み取りや作図については、空間で創造ができるために、繰り返し指導をしていく。</li> </ul> <p>【理科】・事象に関しての理解は十分といえる。発展的に想像して考える場面を意識的に設けることで、さらに力をつけていく。予想、実験、考察を授業の流れとする。</p> <p>【教科担任制】理科・社会等で、学年の担任が学年の教科担当を分担し、多くの教員が学習にかかわれるようにする。</p>
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、手洗いやうがい、身支度、後片付け等の、日常生活の基本的な習慣を身に付け、学校生活の日課・予定に見通しをもって参加できるようにする。</li> <li>・個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づき、好ましいコミュニケーションのとり方を教師が示すことにより、発達段階に応じたコミュニケーションの力をつけるようにする。</li> <li>・小集団内での遊びや係活動などを体験することで、きまりを守ることや役割にすんで取り組むことができるようにする。</li> <li>・サーキットトレーニングに取り組み、楽しみながら多様な動きが体験できる場を設定することで、体力の向上や安全な生活ができるようにする。</li> </ul>